

超絶キュートな新型ラパン誕生・シャトル速攻試乗!!



ホンダオート

暴かれた^秘ゾーン...全40台を網羅!

スクープ 手帳の中身 2015

2015
定価 360円



詳細判明!

NSXプチ

のプチじゃない実力

Cセグ最速スポーツついに始動だ!



ニッポンのスポーツカーと暮らしてみま専科

特集

特別企画

Honda 69年分のお仕事を振り返る



S660、BRZ、アルトターボRS、ロードスターに第3のコペンまで「持つ」シアワセを妄想してみた



助手席 NMB48

かなきちとスバルXVの相乗効果



ステップワゴン は勝てるか? ヴォクシー&セレナと比較 激戦を制するミニバンはどれ?

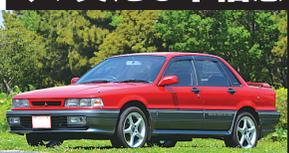
クルマ道楽未体験ゾーン「サバゲー」に行ってみた



激レアスポーツ ラディカルに乗る



ギャラン VR-4を今、買える幸福感



ミス日本「みどりの女神」とフィールダーで旅をする



平成27年7月1日発行 毎月1回1日発行 昭和46年9月1日創刊 株式会社朝日新聞出版 読者サービス部

YOKOHAMA

ヨコハマ

ADVAN Racing RZII

アドバン・レーシング・アールゼット・ツー

構造	鍛造1ピース
サイズ	17×7.0J～19×10.0J
カラー	レーシング・ハイパー・ブラック&リング、レーシング・グロス・ブラック&リング、レーシング・インディゴ・ブルー&リング
価格	5万3460～7万6140円(税込)



カラー：レーシング・インディゴ・ブルー&リング

**伝統のRZが7年ぶりに進化。
シャープなツインスポークで
アグレッシブな見た目を演出。**

**RZのイメージを変えず
より細くシャープに変身**

ADVANレーシングは横浜
ゴムが展開するスポーツホイー
ルだ。ツライチなどルックスを

満足させつつ、軽量かつ高剛性
という性能をひたすら追い求め
てきている。そのADVANレ
ーシングの最新作がRZIIだ。

RZIIが目指すものは何か。
横浜ゴムでホイール企画/デザ
インCMP(チーフ・マーケテ
ィング・プランナー)を務める
萩原修さんにかがった。

「ツイン5本スポークだったR
Zの7年ぶりの進化版です。一
見10本スポークですが、じつ

り見ていただければツイン5本
スポークと気付いていただけま
す。さらに注目していたきた
いのがスポークの内側です。U
字型の広角側は段付きと、異
なるサイドカットを施していま
す。正面から見ればスポークの
細さにも驚かれるはず。さら
にダブルフランジの外周側を
ダイヤカットして、ホイールの
存在感を際立たせています」

このスポークを引き立たせて
いるのが弧を描くコンケイブ形
状にある。17と19インチにはス
タンダードとより深いコンケイ
ブ形状となるGTRデザイン
の2タイプ。走りの18インチには、

さらにアグレッシブなスパー
GTRデザインも加えた3タイ
プを用意しているのだ。
「カラーにもこだわりました。
ハイパー・ブラック、グロス・
ブラックという定番色に加え、
個性的なインディゴ・ブルーを
揃えました。インディゴ・ブル
ーはクルマを選ぶかもしれない
ですが、色が少ない昨今だけに
目立つこと間違いなしです」

ここでスクープ。なんと目下、
15と16インチを開発中とか。S
660をはじめ、コンパクトカ
ーに狙いを定めたものだという
から大いに期待したい。スポー
ツに特化したADVANレーシ
ングはさらなる展開を目論む。



レーシング・
ハイパー・ブラック&リング

レーシング・
グロス・ブラック&リング

▼WRX STIにカラーがレーシング・ハイパー・ブラック&リングの
ADVAN Racing RZII (19×9.0J 5H-114.3+45)を装着。スポー
ツカーの精悍さを強調できるだけでなく、サーキットをアグレッシブに
攻めるイメージを醸し出す

SUBARU WRX STI × ADVAN Racing RZII



▶「トレンドを追い求め
すぎず、ADVANブランド
のスポーツイメージを継
承しながらも大胆に進化
させました。現在、RZII
の15、16インチ用も企
画中ですので期待して下
さい!」と語るのは、横浜
ゴムでホイール企画・デザ
インを担当する萩原修氏

